

第 3 次飯南町総合振興計画及び第 3 期飯南町総合戦略の策定について

1. 総合振興計画・総合戦略の経緯

総合振興計画は、町政の総合的かつ長期的な指針であり、町の目指すべき姿とその実現のために取り組むべきことを定める、町が取り組む計画における最上位の計画です。

町では、「第 2 次飯南町総合振興計画 基本構想」(2016 (平成 28) 年度から 2024 (令和 6) 年度/9 年間) を策定し、「小さな田舎からの『生命地域』宣言」を理念に、「笑顔あふれるまち飯南」を将来像としてまちづくりを進めてきました。

また、同時に人口減少と地域経済縮小の克服・地方創生に対応するため「第 1 期及び第 2 期飯南町総合戦略」を策定し、総合振興計画とともに一体的に取り組んできました。これに基づき「しごとの創出」「新しい人の流れの創出」「若い世代の結婚・出産・子育ての支援」「時代に合った暮らしの創造」の 4 つの目標を掲げ、各種事業を推進してきました。

第 1 期及び第 2 期の総合戦略により推進してきた取組は一定の成果をあげていますが、人口は現在、長期的な目標として示した将来展望人口(「飯南町人口ビジョン」令和 2 年 3 月改訂)を下回って推移しています。

2. 策定の趣旨

飯南町総合振興計画が、令和 6 (2024) 年度をもって計画期間の終了を迎えるにあたり、今後の持続可能な行政運営のもと、中長期的な視点に立って、総合的かつ計画的にまちづくりを進める必要があることから、令和 7 (2025) 年度を初年度とする新たな「第 3 次飯南町総合振興計画(以下「次期計画」という。))」を策定することとなりました。

また、国においては令和 4 (2022) 年 12 月に従来の第 2 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、デジタル技術を地方の社会課題解決の鍵として「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が閣議決定されました。本町においても、これまでの第 1 期及び第 2 期の取組を、今後はデジタルの力を活用しながら継承・発展させていくことが重要です。

こうしたことをふまえ、人口減少や少子高齢化が進むなか、次世代が飯南町での幸せを感じられる持続可能な地域をつくるため、本町が抱える地域課題の解決や総合戦略の趣旨をふまえ、人口対策に必要な中長期的な施策の基本的方向を具体的にまとめ、住民、地域、団体、企業、行政など町全体で共有して推進する新たなまちづくりの指針として本計画を策定します。

3. 策定方針

● 総合振興計画の構成

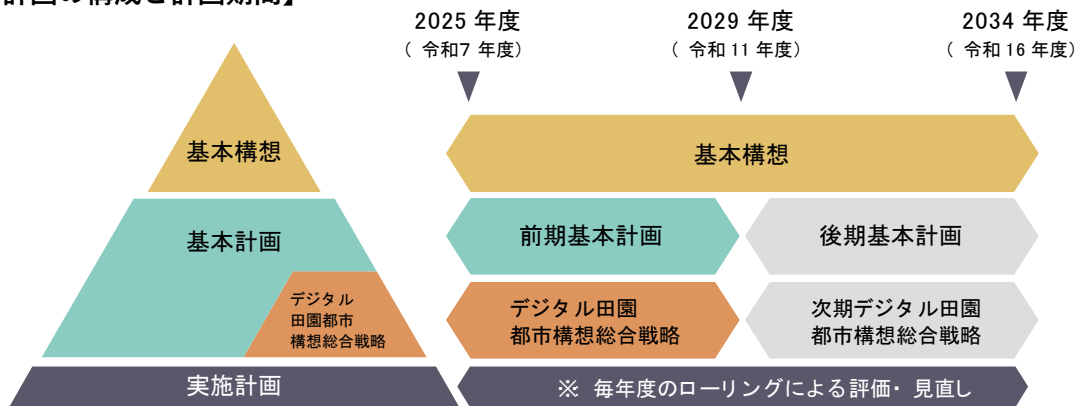
総合振興計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」から構成されており、それぞれ次のような内容と期間とします。

【計画期間】

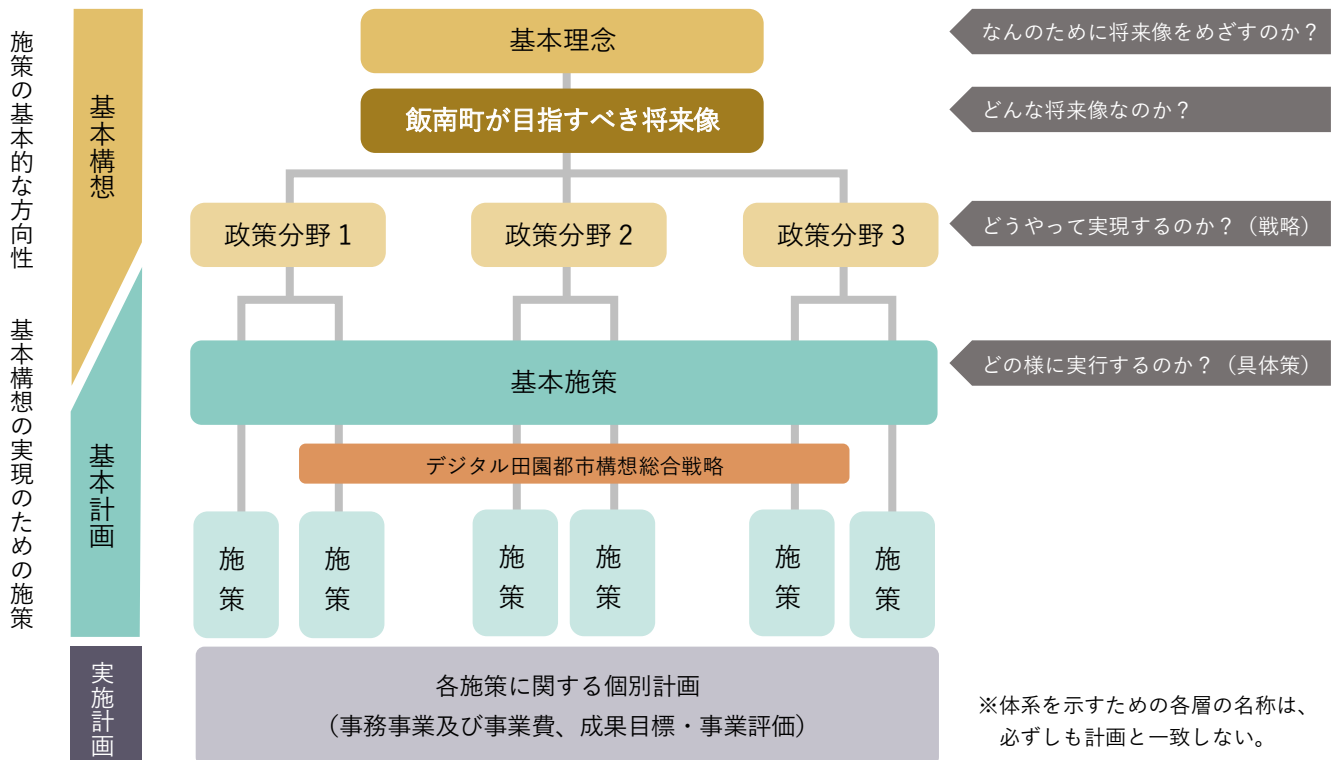
総合振興計画（基本構想：令和7年度～16年度（10カ年））
 （前期基本計画：令和7年度～11年度（5カ年））

総合戦略（令和7年度～11年度（5カ年））

【本計画の構成と計画期間】



【第3次飯南町総合振興計画（仮称）の構成イメージ】



【現飯南町総合振興計画の施策体系（参考）】



4. 策定に向けた基本的な考え方

次期計画の策定にあたっては、町民の皆さまや事業者、関係団体の皆さまのご意見を幅広くいただき、次期計画に反映することで、地域特性を活かした実効性の高い計画としたいと考えています。つきましては、次の事項を基本的な考え方として取り組みます。

(1) 『ともに考え、ともに創る』計画づくり

あらゆる立場の町民の皆さまの参加機会を企画し、意見を集約した計画づくりを進めます。

また、町民の皆さまにとって、「わがこと」と感じられるよう、策定過程の見える化につとめます。

具体的手法	町民アンケート調査 中学生・高校生アンケート調査 キーパーソンヒアリング 町民ワークショップ HP、SNS等による情報発信
-------	---

(2) 「暮らしやすさ・幸福感」の視点に着目した計画づくり

環境・インフラなど、客観的なまちの暮らしやすさだけでなく、生活する町民が「暮らしやすい」「幸福」と感じるかという主観的な暮らしやすさを計測し、心ゆたかな暮らしと持続可能な地域のための計画づくりを目指します。

具体的手法	若者 Well-being アンケート
-------	---------------------

(3) 地域特性を活かした持続可能な地域づくりのための計画づくり

社会経済状況の変化や飯南町の強み・弱みを多角的に分析し、地域特性を活かした持続可能な地域づくりのための計画づくりをめざします。

具体的手法	基礎調査による現状把握 地域別の人口推計
-------	-------------------------

(4) 横断的な職員連携による計画づくり

各課の担当分野だけにとらわれず、政策目標を軸に職員同士が横断的に連携し、施策立案します。

また、全職員がまちの将来ビジョンや目標を共有する「行政のハンドブック」となるような計画づくりをめざします。

具体的手法	幹事会・庁内ワーキンググループ
-------	-----------------

(5) 着実な進行管理を可能にし、施策の実効性を高める計画づくり

評価指標による成果の「見える化」と PDCA サイクルによる施策の進行管理により、柔軟な施策改善を可能にし、施策の実効性を高める計画づくりをめざします。

具体的手法	事業状況マネジメント調査 評価委員会
-------	-----------------------

第2次飯南町総合振興計画及び第2期飯南町総合戦略の目標指標の達成状況

令和2年度より開始した「第2次飯南町総合振興計画 後期基本計画・第2期飯南町総合戦略」における主要な目標指標の達成状況を以下に示します。

目標指標	基準値	実績値			基準値比較	目標値
		令和元年	令和2年	令和3年		令和6年
出生数	119人/5年 23.8人/年 (H27-R1)	21人/年	26人/年	18人/年	↘	30人/年
社会増減数	±0人/年 (H27-R1)	-6人/年	-2人/年	+7人/年	↗	+5人/年
婚姻数	14組/年 (H26-H30)	16組/年	9組/年	7組/年	↘	20組/年
飯南高校生徒数	174人 (H30)	174人	157人	174人	→	175人
入込観光客数	424,251人 (H30)	325,514人	336,810人	355,249人	↘	450,000人
ふるさと納税件数 納税額	4,896件 141,885千円 (H30)	4,972件 150,450千円	6,552件 249,747千円	3,851件 162,417千円	↘ ↗	6,500件 200,000千円
Uターン移住者数	9.5人/年 (H27-H30)	7人/年	4人/年	4人/年	↘	13人/年
Iターン移住者数	38人/年 (H27-H30)	39人/年	36人/年	34人/年	↘	40人/年